



新・サンタマリア館開館  
一周年記念企画展



赤海鼠珠獅子

え!?これも  
水の平??



薩摩錦手急須

多種多様な器たち

みず

だいら

# 伝統の天草・水の平焼展

平成25年4月28日(日)～9月27日(金)

ごりゃ見んと  
わからんばい!



雲丹壺

ナマコ?



三彩花器

赤海鼠珠獅子



# 継承される匠の技 ～江戸から現代まで～

## 海鼠釉の元祖水の平焼

天草島は全国唯一の陶石原産地として名声を博しており、  
すと共に、その原石が本邦陶磁器の生産に不可欠である事は  
周知の通りであります。

吾が水の平焼は明和二年祖岡部常兵衛に依って創業され、  
地名に則り「水の平焼」と命名されました。

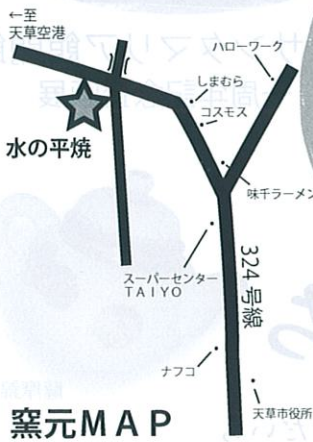
三代目孫四郎に至って一層の改良がなされ一種の象嵌焼を  
産み出し、明治十年内国勲業博覧会に出品して花紋賞牌を受  
賞、早くも水の平焼の産価を全国に高めました。四代目富次  
郎は巧みな彫刻を以て知られましたが、惜しくも夭折し遂に  
象嵌の跡が絶え憂慮されましたが、奮奮した五代目源四郎は  
着色釉の研究に腐心して、有田工業学校に遊び、或るいは全  
国特殊の窯業地を隈なく視察して、斯業の改良業務の拡張を計  
ると共に、一種の海鼠色を発明して、爾後これが吾が水の平  
焼の一大特色となったのであります。

その後各博覧会、共進会等々に出品有功金銀牌を授与され  
明治四十四年秋肥筑大演習の砌り久留米行幸の際天覧に供し  
て御賞上げの栄誉を賜ったのを始め、商工省主催第十三回全  
国工芸品展覧会に於いては三等賞を受賞する等本窯の得た栄  
誉は枚挙に暇がありません。

水の平焼が誇る海鼠色は中国に於て古来より産するそれに  
勝るとも劣らぬ逸品として愛賞されますと共に、一種優雅な、  
色沢明晰な日本海鼠焼として自負すると共に大いにその産価  
を博するところであります。

水の平窯元 七代目 岡部 信行

窯元パンフレットより



窯元MAP

## 施設ご利用案内

カーナビ検索はこの住所！

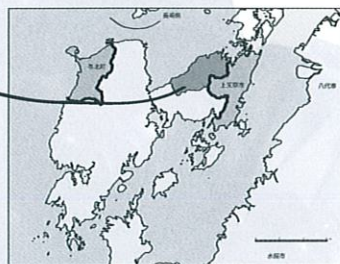
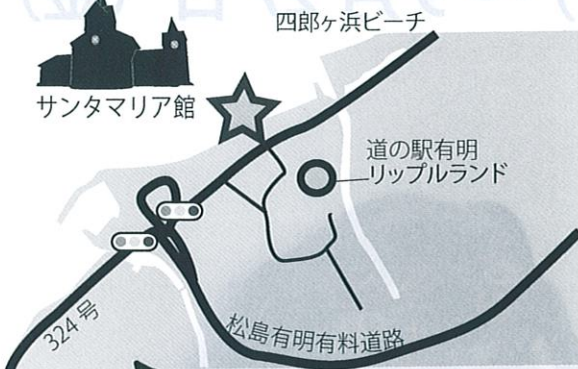
かくれキリシタン民俗資料館サンタマリア館2階（徳利館）  
〒861-7311  
熊本県天草市有明町上津浦 1940-1  
（道の駅有明リップランド・四郎ヶ浜ビーチ隣接）  
TEL 0969-45-8110 FAX 0969-45-8112

開館時間 9:00～18:00（4月～11月）  
9:00～17:00（12月～3月）

観覧料 一般 500円  
中高生 300円  
小学生 100円

団体は20名より  
1割引

年中無休



このチラシを持参された方は！

一般：400円

小学生～中高生：無料

に割引いたします

# 券